

生野中学校区 学校適正配置検討会議（第2回） 会議録

1 日 時 令和2年7月22日（水） 午後7時から

2 場 所 生野区民センター リゲッタ IKUNO ホール

3 出席者

（委員）

石川 隆久委員、浮田 和之委員、大西 範幸委員、金城 知男委員、金 賢一委員、
菰池 愛委員、下村 泰子委員、森 秀直委員（座長）、吉田 貴司委員

（学校）

楠井 誠二（生野中学校長）、末田 美幸（林寺小学校長）、中山 吉一（生野小学校長）、
庄司 量士（舍利寺小学校長）、禰宜田 陽子（西生野小学校長）

（教育委員会事務局）

山口 照美（生野区長兼生野区担当教育次長）、櫻井 大輔（生野区副区長兼生野区教育
担当部長）、川本 祥生（政策推進担当部長）、樋口 義雄（総務部首席指導主事兼生野区
役所こども未来担当課長）、花月 良祐（総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域
活性化担当課長）、大川 博史（地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教
育担当課長）、川楠 政宏（地域活性化担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策
課生野区教育担当課長代理）、竹口 一吉（学事課担当係長）、竹中 一郎（生野区役所地
域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長）、白石 秀一（生
野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局総務部教育政策課係員）、西川 明宏
（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局総務部教育政策課係員）

（傍聴）1名

4 議題

- （1）学校適正配置検討会議における専門部会について
- （2）校名専門部会から校名案の報告と今後の進め方について
- （3）通学路案及び通学路案の安全対策について

5 議事要旨

（1）行政からの説明

【新たな委員の委嘱について】

（説明者：大川地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長）

- ・生野中学校学校協議会委員より金委員を、令和2年7月6日（月）付けで新たに学校適正配置検討会議（以下、検討会議）委員として委嘱した。

【学校適正配置検討会議における専門部会について】

（説明者：大川地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長）

- ・令和2年6月29日（月）から7月15日（水）までの期間で専門部会メンバーの公募を行い、1名の応募をいただいた。
- ・前回の検討会議で各専門部会の担当となった委員に公募のメンバーを加え、行政側の担当者を設定し、各専門部会について議事資料1のと通りの体制とする。

（説明者：花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長）

- ・令和2年7月8日（火）に校名専門部会を開催し、新しい学校の校名候補について、議事資料2のとおり意見交換を行い、7案に絞り込みを行った。
- ・今回の検討会議において、意見をいただき、校名候補が確定すれば、生野中学校区の各校の児童生徒を対象に、校名案への投票を行いたい。
- ・児童生徒による投票の実施時期については、学校長との相談のうえ決定し、投票結果については、校名専門部会においてお示しし、それを参考として校名案を選定していきたい。選定結果を次回の検討会議において報告し、意見交換を行ったうえで、校名案を決定していきたい。

【通学路案及び通学路案の安全対策について】

（説明者：大川地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長）

- ・報告資料に沿って説明を行った。
- ・報告資料別紙2内の点線箇所について、河堀口舍利寺線の一部の歩道が今年度中に本整備されるとのこと、また、南北に走る道については既設のネットフェンスの位置を下げ歩行者用の空間が確保できることから、通学路案の変更を行う。生野小学校区については、通学路案の変更箇所について、現地確認のご協力をお願いしたい。
- ・林寺小学校区について、8月1日、8日、29日の3日間で通学路の現地確認を実施する方向で現在、調整を行っている。

（2）意見等の概要

【新たな学校の校名案について】

- ・議事資料2に記載されている、校名案候補の絞り込みにあたっての留意した6点について、今一度、検討会議において認識を共有しておきたい。単語の順番を組み合わせたものや組み替えたもので多くの校名のパターンができる。投票の結果を決定とせず、柔軟に対応していきたいと考えているので、「こんなワードを入れる」、「こんな組み合わせにする」といった基本ルールについて、検討会議の場で合意しておきたいという意見が校名専門部会で出されていた。
- ・そもそも、児童生徒に投票させるということに疑問を感じる。今は「生野」の地名に誇りを持っていても、先々、大人になったときに感じ方が変わるかもしれない。そのような選択を児童生徒にさせてよいものか。「生野」という言葉がない校名が理想だと思う。
- ・例えば、候補の「四ツ葉ぎむ教育学校」は、後々になっても何で四ツ葉というかといえば、かつて4つの小学校があったとわかる意味のある名前になっている。意味のある名前、また、新しいことをするので、新しい名前になるのが好ましいと思う。
→他の事例でもこども達へのアンケートを実施している。こども達はアンケートに答えることにより、新たな学校の開校に自分たちが関わっているとの意識が生まれる。
- ・「生野」という地名へのイメージは時代によって異なると思う。「生野」という地名がなくなろうとしている現状がある。今でこそ住所としてあるが、いずれは消えるのではないかと。「生野」の名前を校名にだけでも残すべきではないか。
- ・候補に選ばれなかった校名案にも「生野」が付くものが多く、思い入れを感じさせる。「生野」という地名のイメージは時代によって変わると思う。「生野」の名前を残す案がいいと思う。

- ・生野魂は心にもっていただろう。新しい事をしていくという時であるので、全く新しい名前にすればよい。
- ・「生野」と名のついた学校が、初めての義務教育学校として素晴らしい学校になったとなれば生野をアピールできるのではないか。
- ・校名のなかに「学園」と「学校」が両方入っているものがあるが、問題はないのか。
→他の義務教育学校の事例では、「学園」と「学校」が両方入っているケースはある。また、「義務教育学校」は必ずつけなければならないわけではない。
- ・スケジュールどおりに進めば、現在の7候補から選ばれるとして、例えば、「四ツ葉ぎむ教育学校」の「ぎむ」を漢字に変える等の変更は行えるのか。
→投票結果を見て、音の響き等も考慮し決めていきたい。
- ・投票結果どおりの校名にならないかもしれないことは示しておくべきではないか。せっかく投票したのに、違うものになったとなれば、児童生徒ががっかりする。
→児童生徒へのアンケート用紙には、参考とする旨を記載している。
- ・地域には投票してもらわないのか。
→今のスケジュールでは予定はしていない。その点についても、ご意見をいただきたい。
- ・校名案の公募は地域に対しても行ったので、その結果がどのようなになったのかについては地域にもアンケートを渡しながら示してはどうか。地域の理解もより深まると思われる。
→検討会議の内容は区HPにて公表するとともに、検討会議ニュースを全保護者へ配布し、地域への回覧を行っている。紙媒体の周知もできるだけ早く行っていく。

(楠井生野中学校長)

- ・校名に「生野」の名を残すかどうかを部会で決めるのは難しい。調べた際にどんな教育活動が行われているか分かりやすいので「義務教育学校」の名称はついた方が良いと思う

【通学路案及び通学路案の安全対策について】

- ・安全対策専門部会の第1回目はいつ行うのか。安全対策が最も重要な検討事項であると思うが、前回の検討会議以来、1ヵ月間何の連絡も動きもなく、今回の検討会議を迎え通学路案を変更するというのは順番が違うのではないか。検討会議委員は所属している団体に説明を行っていかなければならない。スピーディに動かなければならない、通学の安全対策を1ヵ月間寝かしたことについて、どのように考えているのか。
→ご指摘のとおり、専門部会の調整を行えておらず、申し訳ありません。通学路案のルート変更の調整を先行して行っていた。今後、早急に現地確認のご協力をお願いするとともに、部会の開催に向けた調整も行っていく。
- ・生野南部開発地域のロータリー設置の話はなくなったのか。
→ラウンドアバウトが計画に入っている。現在の進捗では、開校に間に合うことは難しいと聞いている。
- ・ガードレールの設置についてはどうなっているか。
→ガードレールの設置には基礎工事が必要となる等の条件があるので、そちらについて部会で説明を行う。
- ・ガードレールの設置は難しいという話ではなかったか。
→ガードレールは非常にハードルが高い。ガードレールが難しければ横断防止柵や車止め

ポスの設置等、それぞれの設置条件も踏まえて他にとれる対応策をとっていきたい。

- ・通学路の現地確認の際には、様々な意見が出ると思う。その場、その場で意見を確認し、まとめるための用紙を準備してほしい。

【新たな学校でのいきいき活動について】

- ・新たな学校でのいきいき活動については、以前の説明会において、ある時間になれば、もと小学校まで児童を連れ帰り、そこで保護者の迎えを待つという話が出ていたが、その後の進捗はどうなっているか。

→既存のいきいき事業の一環として行うか、いきいき事業とは別事業で行うかの両面から、実施に向けて具体的に検討を進めている状況となっている。令和4年度の開校に向けて進めているなかで、令和3年度の御幸森小・中川小の再編に向けて、実施する前提で具体的な予算編成、事業スキームの組み立てを進めている。もう少しすれば、具体的な説明を行えると考えている。

【地域公共交通の検討状況について】

- ・スクールバスの運行が難しければ、地域のタクシー事業者と連携した取組を行っていくということであったが、実現可能性はどうなっているか。

→地域公共交通の枠組みでオンデマンドバスを走行させ、低学年の児童を乗せる形の検討は続けてきており、実現に向けた取組を行っている。もうひとつの案として、既存のシティバスに停留所1，2ヶ所分を乗せる形も併せて、複数案を検討している。

(3) 確認事項等

- ・生野中学校学校協議会委員より金委員が新たに学校適正配置検討会議委員として委嘱された。
- ・各専門部会について、議事資料1のと通りの体制とする。
- ・新たな学校の校名については、7月8日開催の校名専門部会にて絞り込んだ7候補により、議事資料2のスケジュールにそって、児童生徒の投票を実施する。
- ・次回の検討会議は8月26日（水）に開催する。

6 会議資料

- ・生野中学校区 学校適正配置検討会議（第2回）次第
- ・議事資料1 専門部会メンバーの募集結果について
- ・議事資料1 生野中学校区学校適正配置検討会議各専門部会について
- ・議事資料2 校名案について
- ・参考資料1 新しい学校の校名検討資料
- ・参考資料2 新しい校名投票用紙（案）
- ・報告資料 通学路案及び通学路案の安全対策について